



学校教育目標「夢をもち ともに伸びる子」

いなほ

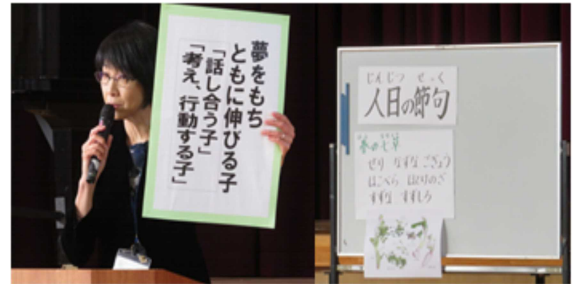
飯田小学校だより No.10

令和2年1月8日



— 3 学期始業式 — 学校長の話

12日間の冬休みが終わりました。
終業式のとき、神谷先生から、「周りをよく見て、安全で楽しい冬休みにしよう」というお話がありました。そういう冬休みになりましたか。



今日は、1月7日。人日の節句と呼ばれる日です。節句というのは、季節の節目で、昔からの伝統的な年中行事を行う日とされています。たとえば、3月3日は桃の節句、5月5日は端午の節句など、1年間に5つの節句があります。日本には、古くから、1月7日の朝ご飯に、春の七草といわれる「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ」を入れたお粥を食べるという風習があります。その土地によってお粥に入れるものには違いがあります。昔の人は、この時期にお粥を食べると、病気などのよくないものを追い払うことができると考えていたようです。また、お正月にお餅やおせち料理などで弱った胃を休め、冬に不足しがちな栄養を野菜で補う働きもあったようです。このように日本には、季節と生活を結び付けた多くの行事があります。昔の人の生きていく上での知恵であり、大切にしたい日本の心ですね。

さて、今日から始まる3学期は、50日間と1年で一番短い学期ですが、1年間のまとめをし、次の学年の準備をする大切な学期です。今の学年で学ぶべきこと、やるべきことをしっかりとやって力を付ける。それが、次の学年への準備になります。一日一日を大切に過ごしてくださいね。

そして、今年度の飯田小頑張り目標「話し合う」と「考え行動する」についても、まとめをする学期です。「友達の考えと比べながら聴いたり、進んで自分の考えを伝えたりすることができているかな」とか、「自分で考えて、行動できているかな」とか「自分から挨拶ができているかな」と振り返りをしながら生活してください。そして、3月には、どんなことができるようになったか、どんなところが伸びたか、自分の成長を感じることができると思います。

5年生・6年生にとって、この3か月は、とても大切な時期です。5年生は、6年生をお手本にしながら、最高学年に向けての心構えをつくっていきましょう。6年生は、これから5年生や下級生にいろいろなことを引き継いでいきますね。学校のリーダーとして高めてきた心や力をしっかりと伝えてください。下級生の手本となるような最高の姿を見せて、卒業を迎えてほしいと思います。頑張ってくださいね。

3学期も目標をしっかりと決めて、毎日を元気よく過ごし、笑顔があふれる学校にしていきたいと思います。

